

静岡県立森林公園の四季の魅力を発信!

●ブログ、ツイッターやっています^^



ムササビだより

2017-2018・冬



静岡県立森林公園

〒434-0002 浜松市浜北区尾野 2597-7

TEL.053-583-0443 fax053-583-2700

<http://kenritsu-shinrinkouen.jp/>

2017年12月1日発行

滑空する ムササビ

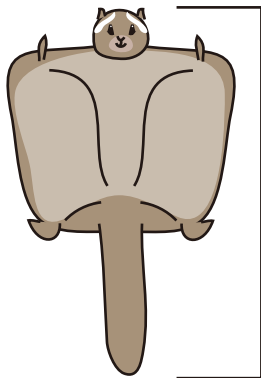
夕方になると活動を始めるムササビ。夜行性のため、その姿を見ることは少ないですが、神社の森などにも暮らす身近な生きものです。森林公園はすみかとなる木、食べ物となる木が豊富な森です。

ムササビのギモン

大きさは?

小さめの猫くらいの大きさです。

頭からしっぽのさきまで 1m ほど。仲間のモモンガは大人の手のひらに乗るくらいの大きさです。



約1m

何のなかま?

リスの仲間で夜行性です。

日本固有種です。ムササビ属はジャワ島など熱帯アジアに広く分布しており、暖かい地域の生き物です。日本はその北限となります。日本のムササビは、この島国の中で、その寒冷な気候に順応してきた種といえます。

森林公園にはほかにもニホンリス（日本固有種）がいます。最近では外来種のタイワンリスも見つかっています。

何を食べるの?

主に植物を食べます。

木の花や冬芽、実が大好きな植物食。葉も食べます。松ぼっくり、どんぐり、コナラなどの冬芽や若葉、サクラの花、ツバキのつぼみ、スギの葉、枝の甘皮なども食べます。

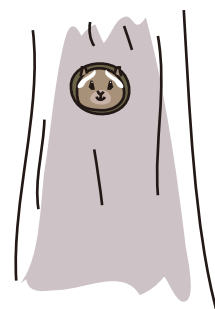


まつぼっくり コナラ冬芽 サクラの花

どこで暮らしてるの?

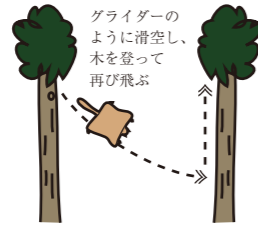
木の上で生活します。

標高 1000m 以下の山や平地の社寺林などで見られます。木のうろなどに巣をかまえます。日が暮れると巣穴から顔を出し、えさを探しに出かけます。木から木へと滑空しながら飛び移り、えさを求めて移動します。ちなみに地面を歩くのは苦手です。



■ ムササビのギモン

どうして
飛べるの？



飛膜（ひまく）を使って滑空します。

飛膜は首から前足、前足と後ろ足の間、後ろ足と尾までの間の3か所にあり、広がると幅50cm、前後35cmほどになります。木の高いところからこれを広げて飛び降り、グライダーのように滑空します。木の上で動き回るとき、飛膜は折りたたまれています。

また長い尾は、滑空時にバランスをとるのでしょう。後ろ足の足裏には毛があり、木へ到着するときの衝撃を和らげると考えられます。

飛ぶためのつくり〈針状軟骨〉があります。

前足手首に針状軟骨という骨があります。飛膜をめいっぱい広げ、座ぶとんのような形にするための構造骨となります。この骨は、普段は腕に沿っているのを目立ちませんが、飛ぶときには90度に飛び出します。滑空するとき、この部分が上に反ります。ちょうど飛行機の主翼の端につけるウィングレットと同じような働きをし、揚力を増すのでしょう。



どんな
生活してるの？

日没後30分頃から活動します。

日が暮れると巣穴から出て、夜明け前には巣に戻ります。

日没後30分ほどで、巣穴から顔をだします。巣から出たあとの最初の2時間ほどがもっとも活発に活動します。巣穴から出ると、最初にフンをし、毛づくろいをします。「グルルル」と鳴き声をあげ、目当てのエサのある木へと滑空します。滑空に利用した木には口の周りを木にこすりつけ「においづけ」をします。また枝の付け根あたりで休息します。

木の上でフンをするので葉にあたり、パラパラと音がしたり、エサを食べるときには葉ずれの音がします。

ムササビの行動圏は1~2haと考えられています。

いつ
赤ちゃんを産むの？

春と夏に産みます。

交尾期が5月中旬~6月中旬頃と11月中旬~1月下旬頃の年に2回あります。妊娠期間を経て、赤ちゃんが産まれるのは真夏の頃と早春~春先です。赤ちゃんが巣穴から顔を出し、エサを食べるようになるのは生後約40日目以降で、ちょうど花や若葉、秋の実り豊かな時期と重なります。

森林公園では
どこにいるの？

ラクウショウ谷付近でよく見られます。

ラクウショウ谷にある炭焼き小屋で夜通し釜の番をしているときに、よく見かけます。また旧公園会館付近でも飛ぶ姿が見られます。ムササビは巣箱もよく利用するため、ラクウショウ谷には巣箱を設置しています。この巣箱はムササビの利用が確認されています。

昼間でもムササビの
様子はわかる？

生活のあとがいろいろあります。

食べ痕や、フン、使っている木の穴などからムササビの様子を知ることができます。

1 食べ痕

ムササビはぜいたくな食べ方をします。少し食べては、ポイッと捨ててしまいます。そこで葉や枝などの食べ痕が地面に落ちていることがあります。その樹上は、きっとムササビが利用しているのでしょう。



葉が食べられた痕。



地面に落ちていた食べ残しの枝。



枝のかじり痕は、ななめになっています。

2 フン

直径3~6mm程度で黒色をした丸い形のフンです。古くなると白っぽくなります。穴のある木の下にフンがないか探してみましょう。

3 木の穴

木にはよく見ると穴や割れ目があります。ムササビは直径8cmあればその穴に入り込めるようです。入り口の下半分が汚れてテカテカしていたり、かじったような痕があればなにかの動物が利用している可能性があります。

4 樹皮のケバ立ち

滑空し、目的の木に到着すると、そこから爪を立てて木を登り、次の滑空をします。滑空によく使う木の樹皮はよく観察するとケバ立っています。

■ 観察会に行こう！！

森の忍者?! ムササビに会おう!

2018年10月13日(土) 14:00~16:00

荒天! 野生 終了しました

時 場 対 定 参加 持ち シー 森歩 1(伴) 選) ャー

<要> 往復 申し お

①行 学年 ※参 名・ ※1 齢・ り氏 卜。

宛先 〒41 静岡 バー

申込 申込

注 意

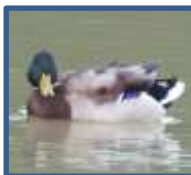
園内には街灯はほとんどありません。また、イノシシなどの野生動物も棲息しています。夜間のご利用は危険も伴いますので、一人では観察しないようにしましょう。

森林公園の
みどころ

12月・1月・2月

冬鳥の季節です。西ノ谷奥池では何種類かのカモが、また園内を散策すればジョウビタキやルリビタキなどきれいな色の鳥にも出会えるかも。赤い木の実が冬の森に映えます。2月下旬にはアセビの花を咲かせます。1月～2月にかけて、うぐいす谷ではアカガエルの卵塊が見られます。

鳥



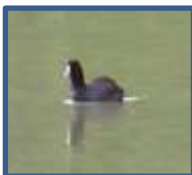
マガモ



コガモ



ヨシガモ



オオバン



ジョウビタキ♂



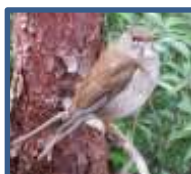
ジョウビタキ♀



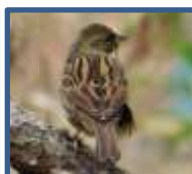
ルリビタキ♂



ルリビタキ♀



シロハラ



アオジ

木と草



フユイチゴ



ヤブコウジ



コバノガマズミ



センボンヤリ



コウヤボウキ



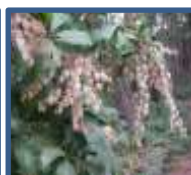
スズカカンアオイ



ヤブツバキ



ヒサカキ



アセビ

カエル



ニホンアカガエル



ニホンアカガエルの卵塊

静岡県立森林公園が 第10回 静岡県景観賞・優秀賞を受賞しました！

静岡県立森林公園は、「美しいしずおか景観推進協議会」が主催する「第10回静岡県景観賞」の「景観づくり活動部門」において優秀賞（日本造園建設業協会静岡県支部賞）を受賞しました。この賞は優れた都市景観を創出している地区等を表彰するものです。森林公園は、県内唯一の貴重なアカマツ林を、行政・関係団体・ボランティアの協働により保全・再生する活動に対し、地域の景観を守る取組として高く評価されました。

今後も活動を続け、アカマツ林をはじめ、湧水湿地環境など地域に特有の自然を有する森林公園が、地域の方々に愛され、将来世代の宝となるよう努めてまいります。



静岡県立森林公園バードピア浜北

浜松市浜北区尾野 2597-7 TEL053-583-0443 FAX053-583-2700 <http://kenritsu-shinrinkouen.jp/>

ムササビだより 7号 発行日：2017年12月1日 編集・発行：静岡県立森林公園バードピア浜北 発行部数：1,000部